

## 2019年度ゴンドワナ地質環境研究所（GIGE）事業報告

2019年度（2019年1月～12月）のゴンドワナ地質環境研究所本部実施事業の概要は以下の通りである。別に月別事業記録及び決算報告（2月確定申告後に収録予定）を示した。

### <主な事業>

#### 1. 学生のヒマラヤ野外実習プログラム関連事業

- ① 第8回実習ツアー（SHET-8）の準備（1月～2月）
- ② SHET-8の実施（3月）：参加者は日本各地の10大学から応募の学生14人、高校生1人、一般2人、中国北西大学生1人及びネパール学生2人の合計20人であった。ネパール学生2人はSHET-8の、中国北西大学生はIAGRの参加費補助による参加であった。実習ツアーコースは例年と同じで、カトマンズーポカラムクチナートールンビニーカトマンズを10日間でバスとジープにより走破した。ツアーは全般的に好天でヒマラヤの見事な眺望に恵まれた。しかしムクチナート周辺は積雪があり、期待の化石探索の成果は芳しくなかった。また、カグベニータトパニ間ではジープの故障が頻発し苦労させられた。



SHET-8 チーム、ムスタンの山並みをバックに（3月）

- ③ SHET-8の報告（3月～5月）：実施報告（概略）はGIGEホームページで公開（3月）のほか、日本地質学会 NEWS（4月）等で公表された。総合報告書「ヒマラヤ造山帯大横断2019」（フィールドサイエンス出版発行PDF版225頁）は5月に発行された。
  - ④ SHET-9の広告・参加者募集、ツアープログラムの作成とツアー実施準備（5月～12月）：インターネット、参加者らのSNS、日本地質学会 NEWS、地団研そくほうなどによるSHET情報の情宣・公表、国内外の4学会におけるSHET関連の発表・情宣と参加者募集、国内72地学関係教室対象のSHET-9報告書URL及びSHET-9参加者募集ビラの送付を行った。5月から11月にかけて参加希望者があり、11月初旬には9大学の学生19人、一般4人の参加者が決まり、合計23人で参加登録を打ち切った。他にネパールトリブバン大学生2人が参加予定となっている。参加登録者への諸情報・注意等の送付、ネパールトレッキング社との調整などが6月から12月にかけて行われた。
- #### 2. 論文の執筆・投稿・発行・講演
- ① 「Early Paleozoic Zircon Ages of the Higher Himalayan Gneisses of the Everest Region and Their Pan-African/Proto-Himalayan Orogenic Signature」（M. Yoshida, G. Gehrels, B.N. Upreti, S.M. Rai）の査読後改定作業・修正原稿の投稿・発行（1月～4月、Journal of

Nepal Geol. Soc., 59 巻) .

- ② [Japan-Nepal joint Student Himalayan Exercise Program 7 years](#) (M. Yoshida, K. Arita, T. Sakai, B.N. Upreti)の執筆・投稿・受理・発行(1月～2月、Universal Journal of Geoscience, 7巻1号)
- ③ 「[青少年の登山と自然科学－北大山岳部 OB 達の地球科学関連活動の例 \(前・後\)](#)」(吉田勝・渡辺興亜)の発行(6月・11月、地学教育と科学運動、82号・83号)。
- ④ 「[日本の現存氷河－氷河の定義と分類](#)」の投稿－受理(4月－11月、地質学雑誌)。
- ⑤ 「[日本の氷河と世界の氷河－飛騨山脈カクネ里氷河見学会から \(前編・後編\)](#)」の投稿・査読後改定作業・修正原稿提出・前編の発行(5月－11月、地学教育と科学運動83号)。
- ⑥ 「[やまと隕石発見1969年](#)」招待原稿を執筆、極地に投稿(10月)

### 3. 学会における研究発表

学生のヒマラヤ野外実習プログラム関連の報告4題を地学団体研究会(8月、東京)、日本地質学会(9月、山口)、国際 Gondwana 研究連合 (IAGR, 11月に高知) 及び極域科学シンポジウム(12月、立川)でポスター発表した。S H E T 関連の発表は地球科学界での S H E T の認知を高めることと、S H E T-9 参加者募集への効果を期待した。地質学会ではさらに「日本の現存氷河・・・」を第四紀分科会で、「登山と地球科学・・・」を文化地質学分科会で講演した。

#### <その他の事業等>

1月～3月に GIGE ホームページの移設作業を実施(下記)

2月～3月にネパール国立トリブバン大学地質学教室の [Bhattarai 教授夫妻を高野山や山陰ジオパークに案内](#)。

8月には [S H E T 参加者交歓会](#)が白馬村であり、総勢10人が集まり、大いに楽しんだ。

#### <お知らせ>

GIGE ホームページは Yahoo Geocities の閉鎖のため、プロバイダーをロリポップに変更した。新しいアドレスは下記。

<http://www.gondwanainst.org/>

2019年12月25日

吉田 勝

ゴンドワナ地質環境研究所 (GIGE)

<http://www.gondwanainst.org/>

648-0091 和歌山県橋本市柱本147-2

E-mail: [gondwana@oregano.ocn.ne.jp](mailto:gondwana@oregano.ocn.ne.jp)

Tel & Fax: 0736-36-7789



山陰ジオパーク玄武洞で(3月)



S H E T 交歓会(8月、白馬)



S H E T-8 ポスターの前で S H E T の参加者ら  
(8月、地質学会)